

# 長泉寺

〒700-0807

岡山市北区南方3丁目10番40号

TEL (086) 223-7450

FAX (086) 221-0302

振込 岡山 01250-6-6418

ホームページ [www.chosenji.net](http://www.chosenji.net)

## 長泉寺だより 第359号



ゆく河の流れは絶えずしてしかも  
この水にあらずよとみに浮かぶうたか  
たはかつ消えかつ結びて久しく留まり  
たる例なし世の中にある人と栖とま  
たかくのごとし

鴨長明かものちやうめいが著した『方丈記』

の有名な冒頭部分であ  
る。日本語の豊かな味  
わいととともに、我が国  
の深い精神性が見事に  
表現されている。

現代が抱える様々な  
問題に触れる度に思う  
が、個人を個として扱  
うのはやはり無理があ  
るのではないか？長明  
が記した通り、一切の  
森羅万象はひたすらに  
合成と分解を繰り返す「流れ」  
であり、決して絶えることはな  
い。その流れにこそ人間の本質  
もあって、即ち「縁」や「関係  
性」といった繋がりが合う流れが  
人間を人間たらしめている。

## 流れ

### ひともし

感情も個ではない。喜びと悲  
しみ、この相反する情動も切り  
離すことができない同じ流れの  
中にある。人間には、悲しみが  
あるからこそ喜びもあり、その  
反対も然りである。別個のもの  
では決してない。し  
たがって、良い感情  
はともかく、負の感  
情は適度に流す必要  
がある。負の感情を  
留めてしまうと虚無  
的になり、激流にな  
ると双極的になる。

血液もリンパもホル  
モンも、その全てに  
流れの質が問われる  
のと同様であろう。

心の問題を抱える者も多い時  
代。大切なのは、感情をうまく  
流すことのできる場所や時間、  
そして人的交流を持っているか  
どうかだ。その意味では、寺は  
実に絶妙であろう。(龍)

池田綱政公所縁

# 白須賀観音

# 夏まつり

7月11日(土) 17:00~21:00 於長泉寺境内

ステージ、屋台出店、お楽しみ抽選会など、盛りだくさんのイベントを行うとともに、  
除災招福の靈験鮮かなる白須賀観音に供養を捧げます。どうぞお参り下さい。

当祭は、檀信徒皆様よりいただく協賛金を基に、地域の企業、団体、個人のご協力で支えられています。

## 万灯万華供養

# 本尊大祭

5月5日より三日三晩をかけて、檀信徒精霊の菩提を祈り全九座の万灯万華供養法会を行う「本尊大祭」が5月8日、無魔成満いたしました。ご参拝いただきました皆様、そして当法会をお支えいただきました関係者皆様には心より厚く御礼申し上げます。



大祭期間中、本堂内には檀



信徒皆様よりお申込みいただいた灯籠が掲げられるとともに、廻向塔婆のご供養が捧げられました。本尊大祭の最終日、真言宗岡山市内結衆寺院の皆様にご助法いただいた結願法会では、「中曲理趣三昧」を奉修。多くのご参拝をいただき、皆様と心一つにお祈り合わせることができたように思います。法会後の法話では、諸事情がありまして当初の予定を変更し、真庭市蒜山福王寺の御住職・小谷剛璋僧正に能化をお勤めいただきました。

## 青葉まつり

岡山市内の真言宗寺院で構成される「岡山市弘法大師降誕会」(事務局当山内)は六月十五日、毎年恒例の「大師ご誕生慶祝青葉まつり」を当山本堂にて開催しました(参拝約八十名)。

天候にも恵まれる中多くのご参拝を賜り、この度新調しました「稚児大師尊像」を皆様に見いただくとともに、灌仏儀、児童書道展、ご詠歌奉納など、晴れやかなる慶祝法会が営まれました。



岡山市弘法大師降誕会

## 伊勢街道巡礼の旅



長泉寺杖心会は四月十七日より「伊勢街道巡礼の旅」を開催。ご参加いただいた二十六名の檀信徒皆様とともに、二泊三日をかけて真言宗豊山派総本山長谷寺(奈良県桜井市)、松坂城下町(三重県松坂市)、本居宣長記念館(同)、斎宮跡(三重県明和町)、朝熊山金剛証寺(三重県伊勢市)、二見興玉神社(同)、月読宮(同)、外宮(同)内宮(同)と巡礼をしました。

今回のテーマは「神仏習合の聖地を歩む」ということで、六世紀の仏教公伝以降、大陸からやってきた仏教と我が国特有の神祇信仰が混然一体となって展開してきた神仏習合の遺蹟を巡りました。現地を訪れ、その歴史的な重厚感に触れることで、神仏双方を信仰する私たち日本人の精神的なルーツに迫れたように思いますし、参加者皆様にも大いに喜んでいただけたのではないかと存じます。

おかげさまで素晴らしい天気にも恵まれ、良い旅となりました。ご参加いただきました皆様



にはありがとうございます。皆様には引き続き、杖心会を宜しくお願いいたします。

## 寺子屋文化講座

三月二十五日、岡山市観光振興課岡山市歴史調査専門監の草原孝典先生をお迎えし、寺子屋文化講座の第五十六回を開講しました。テーマは「米」ということで、我が国における稲作の起源からその歴史についてお話をいただきました。

また、六月一日には（公財）岡山県郷土文化財団主任研究員の万城あき先生をお迎えし第五十七回を開催。同文化財団よ



り発行されている『殿様の御馳走帖』を資料として、岡山藩主が普段どのような食事を取り、またその背景にどのような歴史があるのかという興味深いお話をいただきました。

次回の寺子屋文化講座は、七月二十一日、岡山民俗学会名誉理事長である難波俊成先生をお招きし「スサノオと岡山」というテーマでお話いただきます。

## ご案内

神仏習合の聖地を歩む

長泉寺杖心会 第二回檀信徒日帰りバス巡礼

天橋立 元伊勢籠神社

成相寺 参拝の旅

とき 十二月十二日（土）



ぜひ一緒にしましょう

詳細は追ってお知らせいたします



寺子屋文化講座

## 奉納

株式会社GROP(代表取締役 原田竜一郎氏)様より、サッカーJリーグ百年構想リーグにおいて、同社がメインスポンサーを勤めるフアジャノ岡山が使用した公式ユニフォーム(選手サイン入り)を奉納いただきました。

当山檀徒でもある同社原田氏(榎東町)は、「白須賀観音夏まつり」で子どもたちに喜んでもらうと、同祭で行うお楽しみ抽選会の景品として同ユニフォームを毎年ご提供下さっております。

ご協力に心より感謝を申し上げます。



(写真左)原田清子氏

## 樂陽廟春秋祭

四月二十一日、当山樂陽廟

にお祀りされている檀信徒各家精霊の合同追悼法会「春秋祭」を開催しました。玉佛堂ぎよくふつどうにおいて法要を営むとともに、参拝者(約三十名)皆様とともに光明真言を唱えながら樂陽廟をお参りする「練り供養」を奉修し、各家精霊に回向を捧げました。法会の後は、ご参拝の皆様とお接待のうどんを食べながら、心豊かな時間を持つことが出来ました。



## 長泉寺奉讃会だより



長泉寺客殿修繕および檀信徒文化会館新築奉讃会(略称…長泉寺奉讃会)は、五月八日の本尊大祭結願に際し、第二回総会を開催しました。

奉讃会会長岩見徹いわみとほる総代長のご挨拶で開会した後、龍門住職より奉讃会発足以来の事業報告および今後の事業予定の説明、並びに会計の浦上洋うらかみひろし総代より収支報告がありました。最後に

## 奉讃ご寄附のご案内

奉讃寄附金 一口 5万円也

特別協賛金 一口 100万円也

いずれの御協力に対しましても 記念御札、ならびに記念品を贈呈させていただきます。特別協賛金をご奉納いただいた御方に対しましては、その御芳名を石板に刻し当山境内に永代掲示させていただきます。

《 振込先口座 》

「長泉寺客殿修繕および檀信徒文化会館新築奉讃会」

または「長泉寺奉讃会(チョウセンジハウサンカイ)」

トマト銀行 本店営業部 普通預金 口座番号 2391362

受付期間 令和8年3月～令和10年12月末

参詣者皆様からの質疑応答を経て閉会しました。次回(第三回総会)は令和九年一月八日初薬師縁日に開催します。

特別協賛者のご芳名

令和八年正月〜六月十三日 敬称略

森川雅吉 津島新野

小林閑子 野田

葛原清彦 馭元町

前原幸子 乙多見

西田幸子 祇園

池本 茂 八幡東町

山田芳子 長岡

渡部新平 弓之町

大内 浄 一宮

西田アヤメ 原尾島

武元幸子 鏡野町

奉賛寄附者のご芳名

奉賛会発足（令和八年正月）〜六月十日受付 敬称略

松尾典子 岡崎博之 松田恭子 間 健一 日玉好美 川島義之 福本謹一

白岩あけみ 白井輝義 渡邊吉雄 福原貞子 山脇孝夫 島本昭子 高田聖三

尾崎修子 犬飼晴枝 笹山善男 内田令子 山端武和 定清 勇 高見政和

高取富佐子 二宗印刷株式会社 谷山尚子 水島 健 村田信子 石井司朗

北川一志 速水睦枝 瀬戸 勝 四宮満子 湯浅章夫 西村弥千代 大熊勇司

乾 義之 西村宗郎 浜本忠義 有松達郎 秋山るり子 浮田當枝 松下順子

行本美子 朝森喜久子 徳森康子 横山昌三 谷口善昭 有松須磨子 向井廣丞

岡崎博文 杉山花子 有松啓介 有松絹子 清久茂美 水畑孝昭 岡本行雄

信部淳子 成田泰浩 朝森素子 山田紀香 中務 進 福見 緑 真部 晃

田中ひろみ 加藤知子 氏平光三 小林宏章 小原康子 松本憲浩 清水恭子

酒井静子 西田英樹 片岡千鶴 伊藤圭子 原 チエコ 増田耕一郎 福本伸一

福本京子 藤原幹也 黒住トシ子 青木正人 星川義夫 松本友宏 匠 美江

有松正彦 井上恵子 檜垣鈴子 中塚典郎 福池恭子 三宅茂子 石村 学

重藤美代子 豊後康弘 牧村秀章 金森啓子 金森裕明 犬飼征志 野田隆茂

冲田武司 宮本伸一 三宅恒夫 齋藤 莞 西川尚秀 小林正樹 高見智子

福池忠重 草地幸子 明石弘巳 本庄忠義 武田千代子 藤岡聖士 中村久美子

川崎 渡 横田喜代子 恩藤圭子 原野廣子 則本浩之 三宅博文 家守徑子

寺谷和子 英 則幸 布野 貢 岡 幹雄 馬場良男 川上節夫 森川泰機

木下一男 川上登志夫 浅野信彦 保崎千代子 村上順一 妹尾政典

多大なるご協力に衷心より御礼申し上げます 長泉寺奉賛会

前回の続きで、先代の光研<sup>こうけん</sup>名譽住職が『長泉寺の歴史』（昭和五十九年編纂）に掲載したコラム『長泉寺五百年史 長き流れはいづみに満ち 寺ここにあり』の再掲載です。

### 文明開化にゆれた

明治維新。それはわが国、近代の夜明けとうたわれます。その前夜、人びとは「世直し」「おかげまいり」と称し、さかんに神社に詣でます。幕末のゆるうごく世相の中、伊勢参りを始め、世直しに当来するボサツ・ミロク＝弘法大師の信仰が



光諱阿闍梨の墓塔

みなぎるように流行しました。

安政二年（一八五五）、備前藩におきた人間解放の「渋染一揆」<sup>しぶぞめいっぎ</sup>に住職・光諱<sup>こうしゅん</sup>が関わります。

しかるに仏教は旧套脱すべきものとみなされ、いわゆる排仏棄釈のアラシがおこった。維新は又、神仏判然令と国家神道の成立を果たす。当山がこれにどう対処したのか定かではありませんが、明治五年（一八七二）に遷化した光尊の墓石が歴代より離れ、士族「虫氏」の中に立っているのが印象的です。

明治五年より僧侶も（姓）をもち、当山は寺名に由来してか、代々「泉」<sup>いずみ</sup>姓を名のつています。泉光映<sup>こうえい</sup>（備後、南原家の出身）は明治の三

の柄をつくっていた」「法事のお経をよみながらよく居睡りされた」とか。まあノンビリもしていたのでしょうか。

明治二十四年、山陽鉄道が敷かれ、当山のすぐ裏を汽車が走るようになりまます。これより日夜、ご本尊ともどもSLの郷愁はもののかわ、鉄道沿線の嘆きをかこつことになりました。

やがて二十七年の日清、三十七年の日露戦争が発り、当山の『過去帳』に「英霊」と称される、その犠牲者名が書かれるようになる。わが国のきびしい近代の足跡といえましよう。

岡山市に「第十七師団」がおかれたのが四十年の秋。北郊は軍隊のまちと化し、将校官舎が建ちならびますと、当山のあたりはかつての田園の風趣もことかわっていきまました。

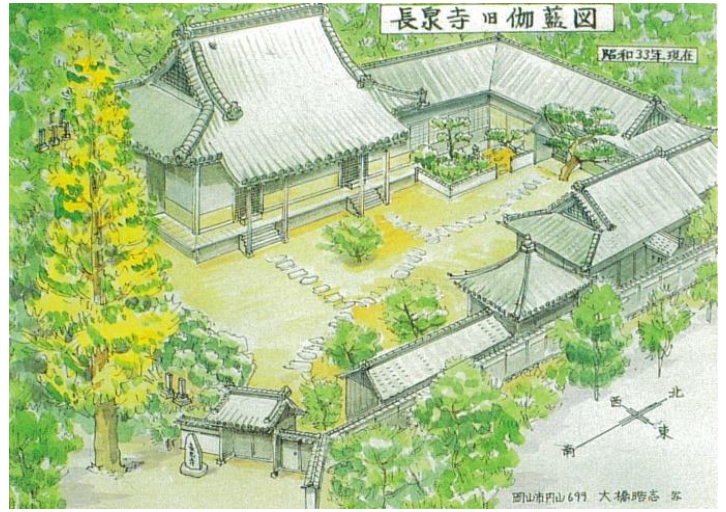
### 大正の“理想”に走る

磨屋町の薬師院に坊さんの学校「真言宗中国連合中学林」が

でき、明治二十年代、まだ三十才に満たない和田大円<sup>わただいでん</sup>（もとは与謝野氏、歌人鉄幹の長兄）が校長をしていた。当山の住職もここに学んだものです。

当山二十世・光俊<sup>こうしゅん</sup>はここに生長し、明治四十年に光映（六十九才）が遷化しますと、そのあとを襲います。しかし真言宗京都大学に学び、その資質をみこまれて紀州の田辺・高山寺へ晋住することになります。この寺は毛利清雅<sup>もうりせいが</sup>（柴庵の名で知られた新仏教運動家）や、ご詠歌・高野山金剛流の流祖・曾我部俊雄<sup>そがべしゅんのう</sup>らが歴住した名刹。曾我部氏の養嗣になった光俊は、やがて俊雄が河内長野市の女人高野・金剛寺に遷化すると、同寺の座主にも晋みます。大戦後の困難な時代にもその経営に功績をあげ、昭和三十二年に亡くなります。

大正八年の『真言宗連合各派寺名一覽』によると、長泉寺は「真言宗御室派、法界院末の孫



江戸期～昭和35年の長泉寺伽藍 故・大橋皓志氏画

界院は御室・仁和寺の直系で中本寺。当山の他、広瀬町の帰命院、門田の仏乗庵、赤磐郡の八ヶ寺、旧御津郡の上興院、法万寺、実相院の計十四ヶ寺を末寺としていました。

市内には同じ仁和寺末の安住院(国富・末院九)、高野山の多聞院末三、京都三宝院末五、随心院末一があったようです。

大正時代は八年に岡山市弘法大師降誕会、十年に岡山真言宗伝道団が発足。いずれも寺門を出でて街頭へ、といった理想主義、大衆化への躍動があふれたものでした。高野山のご詠歌・金剛流が十四年、岡山を發祥地に創立され、全国にそのブームを引きおこします

が、当山の住職・泉大連(もとは石山姓)の活躍ぶりがしのべれます。

末寺、等級二〇 収入二十五円  
檀徒六任職石山大連いしやまだいれんと記されています。

それが同十五年『真言宗寺院一覽』では「檀徒八十四戸、収入一五四円一錢」となり、物価のいちぢるしい変動が示されています。ちなみに明治四十年調べの当山『檀信徒名簿』に檀家数約三〇〇名がかぞえられます。当山の本寺であった三野の法

### 御遠忌、そして――。

そして昭和九年、弘法大師一〇〇年のご遠忌法会が修され、近代の大師讃仰に一大ブームを画します。お寺の多くにその記念塔が立てられ、高野山参りの列車がぞくぞくと走ったのも記憶されました。

昭和九年の大師一一〇年御遠忌に、当山はつぎのような勸募事業を行っている。

収入金一三四九円(三四〇名)  
支出金一〇七一円

(支出内訳)

都市道路収益税 五八〇円  
御遠忌志納金 四〇〇円

その他、事務人件費、芳名建礼、会議費など。勸募の筆頭は福原長蔵、本郷半次郎さんら。

これで判断するかぎり、記念法要は営まれたふうはない。高野山へ全額の半分近く志納し、また現在の県道美作線の拡張工事に税金の名で半額を納めている。

しかしこの秋、岡山は大洪水。当山の被災は少なかったが、檀家で困ったかたは多かった。さらにいわゆる「十五年戦争」の暗雲は晴れやらず、しだいに生活は苦しくなっていました。

岡山で全国仏教大会(第七回)が開かれたのは十一年十一月。三日にわたって法要、討議、講演がもたれたが、もはや戦時色にみちたものでした。

昭和十三年九月二十八日、住職大連(四十五才)が急遷。いわゆる活動家で、檀家の法務はもとより、仏教会、伝道団、ご詠歌などに熱心にとりくんでいただけに早逝が惜まれました。後に秀禅(宮本氏)が児島・中蔵院から入ります。



長泉寺第二十二世 泉大連師

次号に続く

長泉寺

寺子屋

文化講座

Vol.58

# スサノオ説話と 岡山

講師: なんばとしなり難波俊成先生 岡山民俗学会 名誉理事長

参加無料・予約先着 50 名

参加ご希望のお方には、  
事前にお電話にてお申込み下さい。

7月21日(火) 19:00~20:30 於:長泉寺本堂

今回は、岡山民俗学会名  
誉理事長である難波俊成先  
生を講師にお迎えし、神話によ  
つてヤマタノオロチを退治したと  
伝わるスサノオノミコト(須佐之  
男命)について、岡山に残る遺  
蹟との関わりを見していきます。

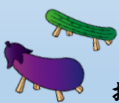
回向 檀信徒各家精霊

## 孟蘭盆総供養法会

8月15日(土) 9時~10時

受付 8時半~ 於:玉佛堂

永代供養をされている方、  
お盆行時にお留守をされた方など、  
ご参列を希望される方には  
お時間までにお位牌をご持参ください



長泉寺合唱団ナーガ

ハートフルコンサート

4th

平和は地域の笑顔から

今回は、地域の皆さんの笑顔や元気の一助となるところから  
平和を願っていききたいとその内容を企画しています。  
また、岡山市と中国洛陽市の日中友好交流事業の一環とし  
て、市内在住の張文さんがゲスト出演されます。  
ご参加の皆さまと楽しく一緒に歌う時間も予定しています。

主催:長泉寺

共催:認定NPO法人 岡山市日中友好協会

6月28日(日)

14:00 開演

13:30 開場 15:30 終了予定

於 長泉寺本堂

ぜひお越しください♪

入場無料  
予約不要

## 将棋クラブ

毎月一回 客殿で開催中  
参加無料

■98回目

7月20日(月祝) 13:30-16:00

■99回目

8月22日(土) 13:30-16:00

いつも集まったメンバーで楽しくや  
っています。どなたでもお気軽にご  
参加ください。

長泉寺将棋クラブは 本年9月に開催百回目を迎えます  
その際には倉敷市出身のプロ棋士 狩山幹生五段を  
ゲストにお迎えし指導対局をしていただく予定です  
どうぞお楽しみに!

長泉寺の公式ホームページをぜひご活用下さい

長泉寺 南方

検索

住職のブログ、月行事日程、文化教室のご案内など長泉寺の様々な情報がご覧になれます